研究業績一覧

〈中国学園大学〉

변변 교육 보고 기본 기본 전략 기본	氏 名	所属	職位	役職	学位	専門分野	研究に関する業績
本文・日本の主張・大山本の工、5. Asternal M. Dien Y、Takeyous, S. Falantis, S. Lotteral of Education Yellow (2017) 121-1225 2014 また。「中央によっている。「日本の主張・大山本の大山本の大山本の大山本の大山本の大山本の大山本の大山本の大山本の大山本の		現代生活学部人間栄養学科 大学院 現代生活学研究科	教授	学部長	博士(医学)	食品衛生学	著書(共著):『食品衛生検査指針(微生物編)改訂版』山本茂貴、森曜子、春日文子、五十君静信、田中廣行、鈴木達也、丹野憲二、小久保彌太郎、島田俊雄、寺嶋淳、大西真、泉谷秀昌、鈴木穂高、福田伸治、野田衛、伊藤武、浅尾務、伊藤田淳、藤澤倫彦、斉藤利江、木村凡、工藤由紀子、田口真澄、林谷英紀、重茂克彦、品川邦汎、岡田由美子、仲真晶子、上田成子、鎌田洋一、門間千枝、小沼博隆、依田清江、緒方喜久代、荒川英二、辨野義己、朝倉宏、諸角聖、久米田裕子、渡邊麻衣子、高橋治男、小西良子、千葉隆司、高鳥浩介、斉藤博之、片山浩之、山下育孝、森功次、吉澄志磨、高木弘隆、岡智一郎、田中直美、山下照夫、葛谷光隆、藤本嗣人、吉田弘、李天成、八木田健司、大西貴弘、泉山信司、山崎浩、杉山広 日本食品衛生協会 H27.3.31
対象に関係を対している。							論文: Clinical evaluation of a bioluminescent enzyme immunoassay for detecting norovirus in fecal specimens from patients with acute gastroenteritis. Shigemoto N, Tanizawa Y, Matsuo T, Sakamaki N, Ohiro Y, Takayasu S, <u>Fukuda S</u> . Journal of Medical Virology, 86(7), 1219–1225, 2014
第2、Detection of gestmontrents various among podiation patients in Historium Perfecture. Appen, between 2006 and 2013 using multiples recording reconsciption (Perfectused Assess) involving financial various perfectuses. Singmont N. Historium N. Toxicalon Y. Taricisana Y. Schinstary Y. Takes S. Toxicalon Y. Taricisana Y. Schinstary Y. Taricisana Y. Schinstary Y. Takes S. Toxicalon Y. Taricisana Y. Schinstary Y. Takes S. Toxicalon Y. Taricisana Y. Schinstary Y. Schins							論文:『発生状況から見えるノロウイルス食中毒の特徴』 <u>福田伸治</u> New Food Industry 58巻第3号(13-21頁) H28.3.1
### (1995年)							論文:『検査面からみたノロウイルス感染症の発生様式の特徴とノロウイルス検査法の現状』 <u>福田伸治</u> New Food Industry 58巻第4号(25-32頁) H28.4.1
京子 中央							transcription PCR-based assays involving fluorescent dye-labeled primers. Shigemoto N, Hisatsune Y, Toukubo Y, Tanizawa Y, Shimazu Y, Takao S,
第次、Development of fixed material with the improvement effects of the vascular endethallum function <u>原業主</u> 、字楽度 transmission Conference on Discharce Observation 2012 Food and Etablet: 第次「マグロ血のい情の変換化への取り扱う」選座基上 食品と研究の14年等) 第次、日本の中央・大学院 所代と紹子明分別 人際選手等等 「大学の企業を入しては、日本の中央・大学院 の代と紹子明分別 人際選手等等 「大学の企業を入しては、日本の中央・大学院 の代と、日本の中央・大学の会 ので、日本の中央・大学院 の代と、日本の中央・大学院 の代と、日本の中央・大学の学 の代と、日本の中央・大学院 の代と、日本の中央・大学の学 の代と、日本の中央・大学の学 の代と、日本の中央・大学の学 の代と、日本の中央・大学院 の代と、日本の中央・大学の学	コウノ イサト 河野 勇人	中国学園大学 現代生活学部人間学養学科	教授	学科長	博士(工学)	食品学	論文:『血管内皮機能の改善効果を有する食品素材の開発 <u>』河野勇人</u> 日本醸造学会誌 107巻(2012)
planematicanal Conference on Biologically Active Substances Boastere Obligano 2012 - Food and Health:		大学院 現代生活学研究科					論文:Development of food material with the improvement effects of the vascular endothelium function <u>河野勇人</u> 、三宅剛史
章文: (知的財産と共同研究との関連性の評価」可容易人 生字進行全体 12回大会(2014.6) 意文: Bovine beforem amolerates form intribitionscale induced read collective disease in ret Y, Ozocki, I Kore T, Kurki, S, Fursheshi, S Fushimi, M, Igled, S, Ozocki, I Walking M, Esperit M, Es		人間宋養字界攻 					International Conference on Biologically Active Substances Bioactive Okayama 2012 –Food and Health–
第文・任知的財産と共同研究との関連性の評価に可能は可能がある。 第文 日本の財産と共同研究との関連性の評価に対していまる。 第文 日本の財産と共同研究との関連性の評価に対していまる。 第文 日本の財産と共同研究との関連性の評価に対していまる。 第文 日本の財産と共同研究との関連性の評価に対していまる。 第文 日本の財産と共同研究との関連性の評価に対していまる。 第文 日本の財産と共同研究との関連性の評価に対していまる。 第文 日本の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と対していまる。 第文 日本の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と共同の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対し、 第文 日本の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対し、 第文 日本の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対し、 第文 日本の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対し、 第文 日本の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対し、 第文 日本の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対し、 第文 日本の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対し、 第文 日本の財産と対し、 第文 日本の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対し、 第文 日本の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対していまる。 第文 日本の財産と対しでいまる。 第文 日本の財産と対しでいまる							 論文:『マグロ血合い肉の商品化への取り組み』 <u>河野勇人</u> 食品と開発(2014,49巻)
お名で、Down Action Control Co							
中国学園大学 現代主義 200 (And and S. Toyolunni, J. Clin. Blochem. Mut. (2012. 31) 中国学園大学 現代主義 200 (And and S. Toyolunni, J. Clin. Blochem. Mut. (2012. 31) 中国学園大学 現代主義 200 (And and S. Toyolunni, J. Clin. Blochem. Mut. (2012. 31)							
類似と美容性人所認識字科人							
大照文学等文	キリワキ アキョシ 森脇 晃義	現代生活学部人間栄養学科	教授	研究科長	医学博士	神経生理学	論文: An immunosuppressant, FK506. protects against neuronal dysfunction and death but has no effect on electrographic and behavioral activities induced by systemic kainate. Moriwaki, A., Lu, YF., Tomiozawa. K. and Matsui, H. Neuroscience, 86, 855–865. 1998
国学型大学 特別 特別 特別 特別 特別 特別 特別 特							
生化学実験 大学院 現代生活学部の科 人間栄養学専攻 第4 生化学実験 生物学実験 生物学実験 生物学実験 とも物学業験 とも物学実験 といる表面主で、また。 「中国学画大学 現代生活学等の人間栄養学科 大学院 現代生活学等の人間大学等な のでは、また。 「中国学画大学 現代生活学等の人間、大学院 現代生活学等の人間大学等な ないます。 「中国学画大学 の大学院 現代生活学等の人間大学等な ないます。 「中国学画大学 の大学院 現代生活学等の人間大学等な ないます。 「中国学画大学 の大学院 現代生活学等の人間大学等な というないでは、また。 「中国学画大学 の大学院 現代生活学等の人間大学等な ないます。 「中国学画大学 現代生活学等の人間大学等を ないます。 「中国学画大学 現代生活学等の人材 人間栄養学等な ないます。 「中国学研入者 、現代を活力を行うないます。 「中国学研入者 人間栄養学等な ないます。 「中国学研入者 、現代を活力を行うないます。 「中国学研入者 人間検索が表しています。 「中国学研入者 人間栄養学等な ないます。 「中国学研入者 人間栄養学等な ないます。 「中国学研入者 人間栄養学等な ないます。 「中国学研入者 人間学の大学 はいます。 「中国学研入者 人間学の大学 のよりにないます。 「中国学研入者 人間学の大学 のよりにないます。 「中国学研入者 人間学のよりにないます。 「中国学研入者 人間学のよりにないます。 「中国学研入者 人間学のよりにないます。 「中国学研入者 人間学のよりにないます。 「中国学研入者 人間学のよりにないます。 「中国学研入者 、現代を行うないます。 「中国学研入者 、現代を行うないます。 「中国学研入者 、現代を行うないます。 「中国学研入者 、現代を行力を行うないます。 「中国学研入者 、現代を行力を行力を行うないます。 「中国学研入者 、現代を行力を行力を行力を行うないます。 「中国学研入者 、現代を行力を行力を行力を行力を行力を行力を行力を行力を行力を行力を行力を行力を行力を							Potent synergy of dual antitumor peptides for growth suppression of human glioblastoma cell lines. Kondo E, Tanaka E, Miyake, Ichikawa T, Hirai M, Adachi M, Yoshikawa K, Ichimura K, Ohara N, Moriwaki A, Date I, Ueda R, Yoshino T, Mol Cancer Ther. 7(6):146
上物学実験	コバヤシ ヒデキ	中国学園大学	教授		博士(理学)	生化学実験	
論文: Amino acid residues required for Qtr1p~Gtr2p complex formation and its interaction with the Ego1p~Ego3p complex and TORC1 components in yeast. Sekiguchi T. Kamada Y. Furuno N. Funakoshi M and <u>Kobayashi H.</u> Genes Cells. 19:449–463 者該有2014) 意文: Yeast tro22 is a novel Dsk2-interacting protein that is involved in salt tolerance. Ishii T. Funakoshi M. <u>Kobayashi H.</u> and Sakiguchi T.Cells. 3:180—198 圣陵有2014) 数尺 医学博士 公衆衛生学 新文学 以代生活学研究科 人間栄養学科 大学院 現代生活学研究科 人間栄養学専攻 「日本 大学院 現代生活学研究科 人間栄養学専攻 「日本 大学院 現代生活学研究科 人間栄養学科 大学院 現代生活学研究科 人間栄養学育論 Control of Oxalic Acid in Urrine by Ion Chromatography. Shimada Y. CHUGOKUGAKUEN J. 11:3-16:2012 Determination of Oxalic Acid in Urrine by Ion Chromatography. Shimada Y. CHUGOKUGAKUEN J. 12:9-12:2013 The Effect of Soaking on the Soluble Oxalic Acid Content of Spinach. 13:27-31, 2014 Vitamin C Content of Dehydrated Vegetables. 14,17-21, 2015 東沢住生活学研究科 人間栄養学科 大学院 現代生活学研究科 人間外の科グリーンノート中外医学社 2016.11.5 論文: Retirol supplements artibiral action of interferon in patients with chronic hapatitis C: A prospective study. N. Kohge, S. Sato, S. Hamaqmoto, S. Akagi, Y. Uchid T. Myake, T. Mikhirox. K. Furuka, R. Ohshima, J. Ishine, Y. Takahashi, N. Ishimura, R. Fukuda, S. Ishihara, Y. Amano, Y. Kinoshita Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition 2010. 46: 38-42 論文: The Sighificance of Using the Biomarkers of N. P. Dimethyfformamide for Improvement of Health Risk Management. M. Yamasakis, S. Akagi K. Nagaoka, J. L. Burgess, K. Shimatu Shimane J Med Sci 2016; 32 51-59 論文: Cinical significance of the highly sensitive (ucoxylated fraction of α fetoprotein in patients with chronic liver disease. T. Hanaoka, S. Sato, H. Tohita, T. Myal S. Ishihara, S. Akagi, Y. Amano, Y. Kinoshita Journal of Gastroenterology and Hepatology 2011; 26: 739-744 論文: A sub-centimeter HCC with bright loop appearance diagnosed by contrast-enhanced ultrasonography. S. Sato, T. Miyake, A. Fukuma, E. Nitta, N. Yamasah		大学院 現代生活学研究科					
components in yeast Sekiguchi T, Kamada Y, Furuno N, Funakoshi M and Kobayashi H. Genes Cells. 19:449-463 査務有(2014) 適文 Yeast Irc22 is a novel Dek2-interacting protein that is involved in salt tolerance. Ishii T, Funakoshi M, Kobayashi H, and Sekiguchi T.Cells. 3:180-198 査務有(2014) 常型 中国学園大学 現代生活学館が同栄養学科 大学院 現代生活学研究科 人間栄養学専攻 第本学修士 大学院 現代生活学研究科 人間栄養学専攻 本書 (本) 本語 (本)							
論文: Yeast Iro22 is a novel Dsk2-interacting protein that is involved in salt tolerance. Ishii T, Furakoshi M, Kobayashi H, and Sekiguchi T Cells. 3:180-198 密熱 (2014) *** *** *** ** ** ** ** ** ** ** ** *							
Sekiguchi T.Cells. 3:180-198 査勝有(2014) 第一 報告							
中国学園大学 現代生活学部人間栄養学科 大学院 現代生活学研究科 人間栄養学科 大学院 現代生活学研究科 人間栄養学研究科 人間栄養学専攻							
現代生活学部人間栄養学科 人間栄養学科 人間栄養学専攻 本学修士 公衆衛生学特論 論文:「モノクロロベンゼン中毒に関する研究)第~〜3編(岡山医学会雑誌) Ascorbic acid oxidase in vegetables. Shimada Y and Ko S. CHUGOKUGAKUEN J. 7,7-10,2008 Estimation of Oxalic Acid in Urine by Ion Chromatography. Shimada Y. CHUGOKUGAKUEN J. 11,13-16,2012 Determination of Oxalic Acid in Urine by Ion Chromatography. Shimada Y. CHUGOKUGAKUEN J. 12,9-12,2013 The Effect of Soaking on the Soluble Oxalic Acid Content of Spinach. 13,27-31, 2014 Vitamin C Content of Dehydrated Vegetables. 14,17-21, 2015 著書: 利尿剤 赤木収二(単著) 木木収二(単著) 木木収益。Sishihara, Y. Amano, Y. Kinoshita Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition 2010; 46: 36-42 論文: The Sigbificance of Using the Biomarkers of N. N- Dimethylformamide for Improvement of Health Risk Management. M. Yamasaki, S. Akazi, Y. Amano, Y. Kinoshita Journal of Gastroenterology and Hepatology 2011; 26: 739-744 論文: A sub-centimeter HCC with bright loop appearance diagnosed by contrast-enhanced ultrasonography, S. Sato, T. Miyake, A. Fukuma, E. Nitta, N. Yamashita, T.	シマダーヨシヒロ	山国学周士学	数坪		医 学插十	小央街生学	5 -200
Ascorbic acid and ascorbic acid oxidase in vegetables. Shimada Y and Ko S. CHUGOKUGAKUEN J. 7,7~10,2008 Estimation of Oxalic Acid in Drinks. Shimada Y. CHUGOKUGAKUEN J. 11,13~16,2012 Determination of Oxalic Acid in Urine by Ion Chromatography. Shimada Y. CHUGOKUGAKUEN J. 12,9~12,2013 The Effect of Soaking on the Soluble Oxalic Acid Content of Spinach. 13,27~31, 2014 Vitamin C Content of Dehydrated Vegetables. 14,17~21, 2015 *** ** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** ** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *** *	嶋田 義弘	現代生活学部人間栄養学科	471文				
Ascorbic acid and ascorbic acid oxidase in vegetables. Shimada Y and Ko S. CHUGOKUGAKUEN J. 7.7-10,2008 Estimation of Oxalic Acid in Drinks. Shimada Y. CHUGOKUGAKUEN J. 11,13-16,2012 Determination of Oxalic Acid in Urine by Ion Chromatography. Shimada Y. CHUGOKUGAKUEN J. 12,9-12,2013 The Effect of Soaking on the Soluble Oxalic Acid Content of Spinach. 13,27-31, 2014 Vitamin C Content of Dehydrated Vegetables. 14,17-21, 2015 著書: 利尿剤 赤木収二(単著) 木下芳一編集 消化器内科グリーンノート 中外医学社 2016.11.5 開文: Retinol supplements antiviral action of interferon in patients with chronic hepatitis C: A prospective study N. Kohge, S. Sato, S. Hamaqmoto, S. Akagi, Y. Uchid T. Miyake, T. Mishiro, K. Furuta, N. Ohshima, J. Ishimura, R. Fukuda, S.Ishihara, Y. Amano, Y. Kinoshita Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition 2010; 46: 36-42 論文: The Sighificance of Using the Biomarkers of N. N- Dimethylformamide for Improvement of Health Risk Management. M. Yamasaki, S. Akagi, K. Nagaoka, J.L. Burgess, K. Shiwaku Shimane J Med Sci 2016; 32 51-59 論文: Clinical significance of the highly sensitive fuccosylated fraction of α fetoprotein in patients with chronic liver disease. T. Hanaoka, S. Sato, H. Tobita, T. Miyak S. Ishihara, S. Akagi, Y. Amano, Y. Kinoshita Journal of Gastroenterology and Hepatology 2011; 26: 739-744 論文: A sub-centimeter HCC with bright loop appearance diagnosed by contrast-enhanced ultrasonography. S. Sato, T. Miyake, A. Fukuma, E. Nitta, N. Yamashita, T.							論文:「モノクロロベンゼン中毒に関する研究」第1~3編(岡山医学会雑誌)
Determination of Oxalic Acid in Urine by Ion Chromatography. Shimada Y. CHUGOKUGAKUEN J. 12,9–12,2013 The Effect of Soaking on the Soluble Oxalic Acid Content of Spinach. 13,27–31, 2014 Vitamin C Content of Dehydrated Vegetables. 14,17–21, 2015 **** ** ** ** ** ** ** ** **							Ascorbic acid and ascorbic acid oxidase in vegetables. Shimada Y and Ko S. CHUGOKUGAKUEN J. 7,7-10,2008
The Effect of Soaking on the Soluble Oxalic Acid Content of Spinach. 13,27–31, 2014 Vitamin C Content of Dehydrated Vegetables. 14,17–21, 2015 *** 中国学園大学 現代生活学部人間栄養学科 大学院 現代生活学研究科 人間栄養学専攻 ** ** ** ** ** ** ** ** **							Estimation of Oxalic Acid in Drinks. Shimada Y. CHUGOKUGAKUEN J. 11,13-16,2012
Vitamin C Content of Dehydrated Vegetables. 14,17-21, 2015 *** 中国学園大学 現代生活学部人間栄養学科 大学院 現代生活学研究科 人間栄養学専攻 ** ** ** ** ** ** ** ** **							Determination of Oxalic Acid in Urine by Ion Chromatography. Shimada Y. CHUGOKUGAKUEN J. 12,9-12,2013
中国学園大学 現代生活学部人間栄養学科 人間栄養学専攻 大学院 現代生活学研究科 人間栄養学専攻 大学院 現代生活学研究科 人間大学院 現代生活学研究科 人間大学院 現代生活学研究科 人間大学院 現代生活学研究科 、大学にはいる、「大学にはいるのとはないのは、アントのは、アントのは、アントのはは、アントのは、							The Effect of Soaking on the Soluble Oxalic Acid Content of Spinach. 13,27-31, 2014
現代生活学部人間栄養学科 大学院 現代生活学研究科 人間栄養学専攻 「個子 Spin Jan And Care and Andrews antiviral action of interferon in patients with chronic hepatitis C: A prospective study N. Kohge, S. Sato, S. Hamaqmoto, S. Akagi, Y, Uchid T. Miyake, T. Mishiro, K. Furuta, N. Ohshima, J. Ishine, Y. Takahashi, N. Ishimura, R. Fukuda, S.Ishihara, Y. Amano, Y. Kinoshita Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition 2010; 46: 36–42 論文: The Sigbificance of Using the Biomarkers of N, N- Dimethylformamide for Improvement of Health Risk Management. M. Yamasaki, S. Akagi, K. Nagaoka, J.L. Burgess, K. Shiwaku Shimane J Med Sci 2016; 32 51–59 論文: Clinical significance of the highly sensitive fucosylated fraction of α-fetoprotein in patients with chronic liver disease. T. Hanaoka, S. Sato, H. Tobita, T. Miyak S. Ishihara, S. Akagi, Y. Amano, Y. Kinoshita Journal of Gastroenterology and Hepatology 2011; 26: 739–744 論文: A sub-centimeter HCC with bright loop appearance diagnosed by contrast-enhanced ultrasonography. S. Sato, T. Miyake, A. Fukuma, E. Nitta, N. Yamashita, T.					W.I-B	-5	Vitamin C Content of Dehydrated Vegetables. 14,17-21, 2015
T. Miyake, T. Mishiro, K. Furuta, N. Ohshima, J. Ishine, Y. Takahashi, N. Ishimura, R. Fukuda, S.Ishihara, Y. Amano, Y. Kinoshita Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition 2010; 46: 36–42 論文: The Sigbificance of Using the Biomarkers of N, N- Dimethylformamide for Improvement of Health Risk Management. M. Yamasaki, S. Akagi, K. Nagaoka, J.L. Burgess, K. Shiwaku Shimane J Med Sci 2016; 32 51–59 論文: Clinical significance of the highly sensitive fucosylated fraction of α -fetoprotein in patients with chronic liver disease. T. Hanaoka, S. Sato, H. Tobita, T. Miyak S. Ishihara, S. Akagi, Y. Amano, Y. Kinoshita Journal of Gastroenterology and Hepatology 2011; 26: 739–744 論文: A sub-centimeter HCC with bright loop appearance diagnosed by contrast-enhanced ultrasonography. S. Sato, T. Miyake, A. Fukuma, E. Nitta, N. Yamashita, T.	^{アカギ} シュウジ 赤木 收二		教授		医字博士	協床医字 	
Burgess, K. Shiwaku Shimane J Med Sci 2016; 32 51-59 論文: Clinical significance of the highly sensitive fucosylated fraction of α -fetoprotein in patients with chronic liver disease. T. Hanaoka, S. Sato, H. Tobita, T. Miyak S. Ishihara, S. Akagi, Y. Amano, Y. Kinoshita Journal of Gastroenterology and Hepatology 2011; 26: 739-744 論文: A sub-centimeter HCC with bright loop appearance diagnosed by contrast-enhanced ultrasonography. S. Sato, T. Miyake, A. Fukuma, E. Nitta, N. Yamashita, T.							T. Miyake, T. Mishiro,K. Furuta, N. Ohshima, J. Ishine, Y. Takahashi, N. Ishimura, R. Fukuda, S.Ishihara, Y. Amano, Y. Kinoshita Journal of Clinical Biochemistry and
S. Ishihara, S. Akagi, Y. Amano, Y. Kinoshita Journal of Gastroenterology and Hepatology 2011; 26: 739-744 論文: A sub-centimeter HCC with bright loop appearance diagnosed by contrast-enhanced ultrasonography. S. Sato, T. Miyake, A. Fukuma, E. Nitta, N. Yamashita, T.							· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
							論文: Clinical significance of the highly sensitive fucosylated fraction of α-fetoprotein in patients with chronic liver disease. T. Hanaoka, S. Sato, H. Tobita, T. Miyake, S. Ishihara, S. Akagi, Y. Amano, Y. Kinoshita Journal of Gastroenterology and Hepatology 2011; 26: 739-744
The state of the s							論文: A sub-centimeter HCC with bright loop appearance diagnosed by contrast-enhanced ultrasonography. S. Sato, T. Miyake, A. Fukuma, E. Nitta, N. Yamashita, T. Hanaoka, J. Ishine, H. Tobita, <u>S. Akagi</u> , Y. Amano, Y. Kinoshita Journal of Medical Ultrasonics 2011; 38,: 27-31

^{9ý 9力3} 多 田 賢代	中国学園大学 現代生活学部人間栄養学科	教授	教務部長	博士(学術)	成長期栄養 高齢期栄養	著書(分担執筆):「マスター栄養教育論実習」((株)建帛社 東京都 発行2016.5.10)p68~72、p83~91、p113~122執筆
	大学院 現代生活学研究科 人間栄養学専攻				臨床栄養学	Takavo Tada, Kanae Sato, Takayo Kawakami, Yuko Kawakami:The Learning Outcomes of Simulated Patient Practice with Undergraduates on a Registered Dietician Training Course in Education on Nutrition Support for Frail Elderly Living in the Community.Rev Esp Nutr Hum Diet.20 (Suppl.1) p660 (2016)
						Yuko Kawakami and Takayo Tada: The Effect Of Order Of Consumption On Postprandial Blood Sugar Levels. Rev Esp Nutr Hum Diet. 20 (Suppl. 1) p441 (2016)
						論文: 笹山健作, 野々上敬子, <u>多田賢代</u> , 足立稔: 部活動の所属, 運動時間と学業成績の関連一中学2年生を対象とした検討一. 学校保健研究56(4) 282-289(2014)
						論文:佐藤香苗, <u>多田賢代</u> , 川上貴代:管理栄養士養成課程における在宅栄養支援教育に対するビデオ学習の効果~学生の自己効力感に焦点をあてて~. Health Sciebces Vol. 29 No. 2 85-94(2013)
						論文:久保田明子, 真壁昇, 宮澤靖, <u>多田賢代</u> :急性期整形外科病棟におけるMNF-SFおよびSGAの特徴と有用性についての検討. 日本病態栄養学会誌16(2) 199- 208(2013)
						論文: 笹山健作, 野々上敬子, <u>多田賢代</u> , 足立稔: 中学生における体力と学力成績との関連一岡山県の中学校2校を対象とした検討一. 学校保健研究55(5) 414-424 (2013)
						論文: <u>Takayo Tada</u> , Tastuya Itoshima, Shigeshi Kikunaga:Anemia was often observed in the elderly women admitted to welfare facilities. BMI can be a surrogate marker of macrocytic anemia. Journal for the Integrated Study of Dietary Habits, 21(4) 281–285(2011)
						Takayo Tada, Miwako Mori, Tatsuaki Nakatou:The examination to improve blood glucose rise after a meal in high carbohydrate food.7th Asia Pacific Conference on Clinical Nutrition (2011.6)
ッジモトミュキ 辻本美由喜	中国学園大学 現代生活学部人間栄養学科	准教授		学士(管理栄養士)	公衆栄養学	論文:公衆衛生情報 「特定健診·保健指導を契機に健康政策へより深く関与する」 平成19年 12月 日本公衆衛生協会
	大学院 現代生活学研究科 人間栄養学専攻					論文:地域の特性を生かした市町村食育推進計画づくりのすすめ「食育推進計画づくりの実践事例:真庭市」平成20年5月 内閣府食育推進室
	入间末食子 等以					研究発表:「健康づくり実行委員とともに歩む禁煙の取り組み」と「真庭市における郷土料理伝承の取り組み」2題を発表 第16回岡山県保健福祉学会 平成22年1月
						研究発表:「多分野の栄養士が連携した食育推進」 第23回岡山県栄養改善学会 平成22年2月
						研究発表:「『毎月19日はノーテレビ、ノーゲームデー』への取り組みと調査結果」第18回岡山県保健福祉学会 平成23年1月
						研究発表:「『毎月10日は弁当の日』の取り組みとアンケート結果」第24回岡山県栄養改善学会にて平成23年2月
						論文:平成23年度版食育白書「トピックス自治体の取り組み:『子どもの心に届く食育の普及啓発』岡山県真庭市」平成23年6月 内閣府食育推進室
						論文:公衆衛生情報「真庭市食育推進計画が国の食育白書に掲載されました」 平成23年 12月 日本公衆衛生協会 研究発表:「養護老人ホームにおける人事評価制度の活用」 平成25年度岡山県老人福祉施設職員研究発表会 平成26年1月
オカザキ ケイコ	中国学園大学	准数授	就職支援課長	修士(学術)	食生活論	明九元衣:「養護七八小一厶における八事計画前及の右用」 十次20千反画山宗七八 個位加設城員明九元衣云 十次20千1万
オカザキ ケイコ 岡﨑 恵子	現代生活学部人間栄養学科	/E7XIX	754%人[灰床区	(1 Hi)	学校栄養教育·食育	論文:『中学校女子生徒における運動部所属の有無、体力、朝食等との関連 <u>』岡﨑恵子、</u> 浅川冨美雪 地域環境保健福祉研究Vol15 2012 P49
						論文:『成長期にある中学生の肥満度と体力、骨量、生活習慣、痩身志向の関連について』 <u>岡﨑恵子、</u> 浅川冨美雪 四国公衆衛生学会雑誌 第57号2012 p79-83
						論文:『成長期にある女子中学生の痩身志向との関連要因 <u>』岡﨑恵子、</u> 浅川冨美雪 教育保健研究第17号2012 p85-91
						論文:『中学生のネット依存傾向とライフスタイル・健康状況との関連』 <u>岡﨑恵子、</u> 浅川冨美雪 教育保健研究第18号 2014.6 p11-17
						論文:『標準体重中学生女子の痩身志向に関連する要因分析』浅川冨美雪、 <u>岡﨑恵子</u> 倉敷芸術科学大学紀要第18号 P51-59(2013.3)
						論文:『中学生が望む食教育と食行動について』吉田繁子、 <u>岡﨑恵子</u> 倉敷芸術科学大学紀要第19号 P179-191 (2016.3)
						「中学生における孤食と食習慣・心の健康について」日本幼少児健康教育学会第35回大会[秋季:大阪大会]抄録集p20~2(2016.9) 1 <u>岡﨑恵子</u> 野々上敬子,田村裕子,多
						田賢代 「中学生におけるアレルギーと生活習慣・食生活・不定愁訴の関連性」日本幼少児健康教育学会第35回大会[春季: 世田谷大会]抄録集p82~83(2017.3) <u>岡崎恵子</u> ,田村 裕子,野々上敬子,多田賢代
						竹子, ま)ペエ- W 子, 身田員代 「健康教育と食育に関する研究〜健康教育と食にかかわる研修会参加者に対する意識調査〜」日本幼少児健康教育学会第36回大会[秋季:新潟大会]抄録集p48〜 49(2017.8) <u>岡﨑恵子</u> ,野々上敬子,田村裕子,多田賢代
^{ナカダ} シュウサク 中田 周作	中国学園大学 現代生活学部人間栄養学科	准教授	教務課長	教育学(修士)	教育社会学 子ども社会学	『岡山市における子どもの自然体験調査報告書-平成23年度調査-』岡山市教育委員会編集 2012年3月 1-71(岡山市教育委員会 委託研究)
					7 = 0.22.7	「放課後児童クラブの社会的位置づけ」中国学園紀要編集委員会『中国学園紀要』2014年6月、第13号、147-156頁。
						「第11章 子どもとインターネット」永井聖二・加藤理『子ども社会シリーズ6 消費社会と子どもの文化 改訂版』学文社、2015年4月、153-164頁。
						「第4章 近隣集団と子どもの社会化」住田正樹・高島秀樹『変動社会と子どもの発達 教育社会学入門』北樹出版、2015年10月、53-66頁。
						「放課後児童クラブの理想的なあり方に関する調査研究」日本学童保育学会編『学童保育』研究ノート、2015年5月、第5巻、77-86頁。
						3)放課後児童コース「1.放課後児童健全育成」業(放課後児童クラブ)の理解」「4.放課後児童クラブにおける安全・安心への対応」「5.放課後児童クラブに従事する者として求められる能力」一般社団法人教育支援人材認証協会『子育て支援員研修に係る「指導略案」及び「標準的な履修・指導内容の教材例」』平成27年度厚生労働省委託事業、2016年3月。249-253,261-265頁。
						鈴木瞬、臼井純子、住野好久、中田周作、中山芳一、矢吹真子、若井暁「『放課後児童支援員認定資格研修』の実態と課題-研修での学びや研修後の力量形成につなげる視点から-」日本学童保育学会編『学童保育』研究ノート、2017年5月、第7巻、71-79頁。
						「1 放課後児童健全育成事業の目的及び制度内容」「5 子どもの生活面における対応」「6 放課後児童クラブ従事者の仕事内容と倫理」子育て支援員研修テキスト刊行 委員会『子育て支援員研修テキスト』2017年8月、230-234,246-259頁。

オノ ヒサミ 小野 尚美	中国学園大学	准教授	博士(法学)	臨床栄養学	著書(共著): 『栄養評価学テキストノート』2012年3月 管栄出版
小野 向美	現代生活学部人間栄養学科	准扒又	特工(海子)		著書(共著):『子どもの食と栄養テキストノート』2012年4月 pp24-93 管栄出版
					著書(共著): 『めざせ!栄養士・管理栄養士 まずはこのナビゲーション』2014年1月 pp68-76 第一出版
					音音(六名) 『じらじ:木髪エ・音音(木髪エ・よう) はこの プログー プログロ 2014年1月 1900 70 第一 出版 学術論文: 『学校における食育に関する制度的考察序説』2009年3月 pp1-19 岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要第27号
					学術論文:『食に関する教育と新しいスタイルの学校給食~個を尊重する学校教育の視点から~』2011年3月 岡山大学大学院文化科学研究科博士論文
					学会発表:『短期大学学生の食物摂取量とストレスの関係』2015年9月 第62回日本栄養改善学会学術総会(福岡)
ヤマモト タダシ	 中国学園大学		修士(応用言語学)	ライティング	学会発表:『短期大学学生の食物摂取量とストレスの関係 第2報』2016年9月 第63回日本栄養改善学会学術総会(青森)
ヤマモト ダダシ 山本 忠クレイグ	現代生活学部人間栄養学科	72.77		エクステンシフ・リーディンク	論文:『Enhancing Communication through QR Cord Based Listening Activities』2016.11 SojoUniversity Teaching and Learning Forum 2015 ConferenceProceedings,73–80 Kumamoto:SUTLF
					論文:『Electronic Self─assessment Surveys: Engaging Lower─tier Learners with QR Codes and Smartphones』2016.6 JALT CALL/Brain 2016
					論文:『Using Google Forms to Enhance Language Use』2016.2 SUTLF 2016
マナベ ヨシエ	中国学園大学	准教授	博士(理学)	栄養学、生物学	論文:『Manufacturing Autonomy: An I2 Reflective Writing Project』Sojp Journal 39,123−131 Kumamoto: Sojo University
マナベ ヨシェ 真鍋 芳江	現代生活学部人間栄養学科	准狄汶	(中国)	細胞栄養学特論	著書(共著):生物学一ヒトと環境の生命科学 川崎祥二、古圧律他6名 2009. 10 建帛社
	大学院 現代生活学研究科 人間栄養学専攻				大学を核とした食育の実践 <u>真鍋芳江</u> ·森惠子·古川愛子·堤千代子 中国学園紀要 第12号 論文:Insulin-like Growth Factor 1(IGF1) mRNA Expression in the Uterus of Streptozotocin (STZ)-treated Diabetic Mice Yoshie MANABE, Makoto TOCHIGI, Akiyoshi
					MORIWAKI, Sakae TAKEUCHI and Sumio TAKAHASHI Journal of Reproduction and Development Vol.59, No 4, 2013
					論文: 広汎性発達障害青年を対象とした料理教室に関わった学生の変容 <u>真鍋芳江</u> ・山本由理・森惠子 中国学園紀要 第14号
					論文:広汎性発達障害青年を対象にした料理教室の運営 <u>真鍋芳江</u> ・山本由理・三宅夕貴・森惠子 中国学園紀要 第15号
北島葉子	中国学園大学 現代生活学部人間栄養学科	准教授	修士(栄養学)	給食経営管理	研究発表:「サーヒ・スラーニング(学校給食支援ポランティア)の実施による支援者側の変化 一食育, 児童, 学校給食に対するイメージの活動前後での変化一」第11回大会 日本食育学術会議 大阪府 2016.6.11,12
					研究発表:「栄養教諭および学校栄養職員の業務・教育能力特性について ーその自己評価と観念意識の給食管理業務種別での比較ー」 第11回大会 日本食育学術 会議 大阪府 2016. 6. 11,12
					「サービス・ラーニング(学校給食支援ボランティア活動)に関する検討ーその意識変化と教育効果についてー」中国学園紀要2016
					研究発表:「調味料の違いによる真空調理が煮物に及ぼす影響」 第10回 日本給食経営管理学会学術総会 京都府 2014.11.,29,30
					研究発表:「幼児期の咀嚼に関する食育指導媒体の作成と保育園勤務職員の食育観」第9回大会 日本食育学術会議 愛知県 2014. 6. 14,15
					「青ニラおよび黄ニラのビタミンC含有量の周年変動」中国学園紀要2014
					研究発表:「魚の真空調理による脂肪酸の変化」 第9回 日本給食経営管理学会学術総会 千葉県 2013. 11.,9,10
					研究発表:「学生の学校給食支援ボランティア活動による意識変化と教育効果」 第9回 日本給食経営管理学会学術総会 千葉県 2013. 11.,9,10
					研究発表:「幼児の給食時の咀嚼回数といくつかの身体指標について~給食時の摂食状況の観察から~」 第8回大会 日本食育学術会議 福井県 2013. 6. 15,16
					研究発表:「高等教育機関に在籍する学生の地域農産物に関する意識調査一大学及び短期大学生一」第8回大会 日本食育学術会議 福井県 2013. 6. 15,16
					「学生の学校給食支援ボランティア活動による意識変化と教育効果」 中国学園紀要2013
					論文:「ベニバナ花弁への放射線照射によるベニバナ黄色素抽出効率の向上」 食品照射 第46巻 第1号 2011
					研究発表:「学生の学校給食支援ボランティア活動によるサービス・ラーニング」 第58回 日本栄養改善学会学術総会 広島県 2011. 9. 8,9,10
					研究発表:「学校給食支援ボランティア活動を通じて学んだ食育ー小学校の児童との関わりを通じて―」第6回大会 日本食育学術会議 岡山県 2011. 6. 25,26
					「既存添加物調整原材料への放射線照射に関する研究-殺菌効果・色素抽出効率-」 中国学園紀要2012
					 「"光励起ルミネッセンス(PSL)測定法"による既存添加物調製原材料の放射線照射履歴の検知と殺菌効果」 中国学園紀要2011
					研究発表:「光励起ルネッセンス(PSL)測定法による香辛料及び既存添加物調製原材料の放射線照射履歴の検知と殺菌効果」第25回日本香辛料研究会 静岡県 2010. 11. 12
		=# 4 T	14 1 (244.45-1	吃 c · · · · · · · · · · · · ·	研究発表:「既存添加物抽出原材料への放射線照射」 第46回日本食品照射研究協議会 東京都 2010, 12, 3
ブルカワ アイコ 古川 愛子	中国学園大学 現代生活学部人間栄養学科	講師	博士(学術)	臨床栄養 病態栄養学特論	著書(共著): 臨床栄養学 栄養ケアとアセスメント編(第3版)(p74-84)化学同人
	大学院 現代生活学研究科 人間栄養学専攻				論文:日本人男性における腹部肥満改善に影響する栄養学的因子の検討 菅原詩緒理、川島愛子、赤羽たけみ、福居健一、白井康代、沖田美佐子、塚本幾代[日本病態栄養学会誌2013(16)293-304]
					Serum cytokeratin M30 level and its correlation with nutritional parameters in middle-aged 2 Japanese males with nonalcoholic fatty liver disease(NAFLD) Tabuchi M, Kayoko Tomioka K, Kawakami T, Murakamib Y, Hiramatsu M, Itoshima T, Sugawara S, Kawashima A, Okita M, Tsukamoto I [J Nutr.Sci.Vitaminol.2010(56)]
					炎症性腸疾患患者の食事管理に関する自己効力感とQOLに関する調査・検討 川島愛子、松澤奈央子、石井順子、小野晋平、保手濱由基、木野山真紀、森谷行利、冨岡憲明、武田知恵子、川上祐子[中国学園紀要、2010. 9. 9-16]
					非アルコール性脂肪肝炎(nonalcoholic steatohepatitis: NASH) 患者における魚類摂取の効果 川島愛子、菅原誌緒理、稗万美子、沖田美佐子、萬谷育子、北出光輝、吉治仁志、福井博、塚本幾代[日本臨床栄養学会雑誌2010(1, 2, 3)1-8]
					Plasma fatty acid composition, estimated desaturase activities, and energy and nutrient intakes in Japanese men with abdominal obesity or metabolic syndrome Aiko Kawashima, Shiori Sugawara, Misako Okita, Takemi Akahane, Kennichi Fukui, Maiko Hashiuchi, Chieko Kataoka, Ikuyo Tsukamoto. [J Nutr. Sci. Vitaminol 2009 (55) 400–406]

タムラ リエ	中国学園大学	講師	ı	修士(臨床栄養学)	調理学	於立 『구尚## 청요나 # 孝工! #1 L回吐調吐씨 #1
田村 理恵	現代生活学部人間栄養学科	마 마		炒工(咖外不食子)	<u> </u>	論文:『大学生を対象とした煮干しだしと風味調味料だしの好みとうま味およびにおいに対する知覚との関係』神田知子、安藤真美、高杉美佳子、 <u>田村理恵</u> 、高橋徹、丸山智美、五島淑子 日本家政学会誌、62(3)、179-188、2011
						論文:『人間栄養学科公開講座における少人数グループ学習の試み』 <u>田村理恵</u> 、木野山真紀、真鍋芳江、槙尾幸子、村上淳、西田典数、川上祐子、高早苗 中国学園 紀要(10)、1-8、2011
						論文:『中学生·高校生の生活状況と健康教育・健康管理上の問題点—日本語版便秘評価尺度を使用して—』新沼正子、 <u>田村理恵</u> 中国学園紀要(11)、141-148、2012
						発表: 『女子学生の食物摂取頻度に及ぼす朝型・夜型の生活リズムの影響について <u>』田村理恵、新沼正子日本家政学会研究発表要旨集67回大会P62(2015)</u>
						論文:『大学生における自覚症状の訴え数・排便状態・抑うつ傾向相互の関連性』 <u>田村理恵</u> 、新沼正子 中国学園紀要(14)、87-94、2015
						論文:『中学生不定愁訴の発現と睡眠時間・朝食の摂食頻度・排便頻度との関わり』新沼正子、 <u>田村理恵</u> 中国学園紀要(14)、95-100、2015
						発表:『栄養教諭および学校栄養職員の業務·教育能力特性について—その自己評価と観念意識の給食管理業務種別での比較—』北島葉子、笠間基寛、 <u>田村理恵</u> 、中田亜弥子、村上淳 日本食育学術会議第11回大会、p58-59、2016
						発表:『サービスラーニング(学校給食支援ボランティア)の実施による支援者側の変化―食育、児童、学校給食に対するイメージの活動前後での変化―』村上淳、北島 葉子、 <u>田村理恵、</u> 笠間基寛、中田亜弥子、日本食育学術会議第11回大会、p68-69、2016
キノヤマ マキ 木野山 真紀	中国学園大学 現代生活学部人間栄養学科	助教		博士(健康科学)	臨床栄養学、生理学	ドコサヘキサエン酸(DHA)摂取によるストレス適応の脳内機序 一病態栄養学的視点から 渡辺明治、 <u>木野山真紀</u> 、新田早美 [日本病態栄養学会誌 11(3):217-235, 2010]
	沙((工力于邮人间本及于))					脳由来神経因子(BDNF)からみたn-3系多価不飽和脂肪酸のストレス適応能の向上-メンタルヘルスにおける病態栄養学への期待- 渡辺明治、 <u>木野山真紀</u> [日本病態 栄養学会誌 13(1):9-33, 2010]
						企業で働く栄養士・管理栄養士の勤務実態と期待される知識・能力に関する調査研究 大宮めぐみ、清原昭子、 <u>木野山真紀</u> [栄養学雑誌 70(3):173-180, 2012]
						文科系学生における健康や食事についての事象の知識・意識・行動の実態について 山崎真未、北島葉子、田村理恵、木野山真紀、村上淳 [中国学園紀要 16:115-121,2017]
^{オオラミヤ} 大宮 めぐみ	中国学園大学 現代生活学部人間栄養学科	助教		博士(学術)	フードシステム論	著書(単著):『病院給食と地産地消』、大宮めぐみ、大学教育出版(2015)
						著書(共著): "厚生連病院の食料調達における地産地消の現状と課題", 『協同組合奨励研究報告第四輯』67頁-100頁, 全国農業協同組合中央会編(2015)
						論文:「高齢者/病者用食品の分類とフードシステムに関する考察」,大宮めぐみ,清原昭子,日本フードシステム学会,「フードシステム研究』,第23巻,第3号(2016)
						「サービス・ラーニング(学校給食支援ボランティア活動)に関する検討その意識変化と教育効果について」北島葉子・大宮めぐみ・影山智絵・村上淳, 中国学園大学・中国短期大学, 『中国学園紀要』, 第15号(2016) 講文: 「厚生連病院にみる地場産農産物沽用の動向と課題・全国的アンケート調査に基ついて・」大宮めぐみ, 地域農林経済字会, 『農林業問題研究』, 第50巻, 第2号
						(2014) 論文:「厚生連病院における地場産農産物活用の現状と課題」大宮めぐみ、地域農林経済学会、『農林業問題研究』、第49巻、第1号(2013).
						論文:「企業で働く栄養士・管理栄養士の勤務実態と期待される知識・能力に関する調査研究」大宮めぐみ・清原昭子・木野山真紀, 日本栄養改善学会, 『栄養学雑誌』 Vol.70. No3. 173-180(2012).
						論文:「栄養士・管理栄養士資格保有者の資質向上と知識欲求-食品製造・小売業等勤務者を対象として-」、大宮めぐみ・小松泰信・横溝功・清原昭子、地域農林経済
						学会,『農林業問題研究』,第187号,第48巻・第2号(2012). 「薬品小売業で働く管理栄養士の勤務実態と要求される知識・能力」大宮めぐみ・中原由衣・前田紗貴子・清原昭子,中国学園大学・中国短期大学,『中国学園大学紀 要』、第11号(2012).
						安』、第11号(2012). 学会報告:「企業で働く栄養士・管理栄養士資格保有者の現状と必要とされる能力に関する調査報告」、大宮めぐみ・清原昭子・木野山真紀、日本栄養改善学会第7回
						中国支部学術総会,2010年7月 学会報告:「栄養士・管理栄養士資格保有者の資質向上と知識欲求-食品製造・小売業等勤務者を対象として-」、大宮めぐみ・小松泰信・横溝功・清原昭子、第61回地
						域農林経済学会大会,2011年10月 学会報告:「企業で勤務する栄養士・管理栄養士の学習機会と情報ニーズに関する調査」、大宮めぐみ・清原昭子、第59回日本栄養改善学会学術総会,2012年9月
						学会報告:「厚生連病院における地場産農産物活用の現状と課題」、大宮めぐみ、第62回地域農林経済学会大会2012年10月
						学会報告「管理栄養士・栄養士の科学情報に関するリテラシーの現状と課題」清原昭子・大宮めぐみ、第60回日本栄養改善学会学術総会、2013年9月
						学会報告「病院給食における地産地消の現状と促進条件に関する調査研究」大宮めぐみ、第60回日本栄養改善学会学術総会、2013年9月
						学会報告「厚生連病院にみる地場産農産物活用の動向と課題-全国的アンケート調査に基づいて-」、大宮めぐみ、第63回地域農林経済学会大会、2013年10月
						学会報告「病院給食における地産地消の普及率と導入課題に関する研究」大宮めぐみ、日本栄養改善学会、第61回日本栄養改善学会学術総会、2014年8月
						学会報告「農業協同組合における地産地消への対応と課題ー病院給食を対象として一」大宮めぐみ、日本協同組合学会、第34回日本協同組合学会大会、2014.10
						学会報告「高齢者/病者用食品の分類とフードシステムの変遷」大宮めぐみ・清原昭子、日本フードシステム学会、2016年度大会、2016年6月
						学会報告「病院給食におけるフードシステムに関する調査研究-業務委託化の観点からの考察-」大宮めぐみ、日本栄養改善学会、第63回日本栄養改善学会学術総 会、2016年9月
						学会報告「在宅向け高齢者/病者用食品の取扱の現状と食品事業者の役割」大宮めぐみ、岡山県地域包括ケアシステム学会、第1回岡山県地域包括ケアシステム学会、第1回岡山県地域包括ケアシステム学会学術大会、2016年9月
ヤマザキ マミ 山﨑 真未	中国学園大学 現代生活学部人間栄養学科	助教		修士(栄養学)		論文:「食環境とおいしさのフィッテングイメージ -くらしき作陽大学におけるフードコーディネートの事例により-」 『くらしき作陽大学紀要:研究ノート:共著:向後千里・今村(山﨑)真未』(2015.10)
^{モリ ヨシコ} 森 香子	中国学園大学 現代生活学部人間栄養学科	助教		修士(栄養学)	栄養学	学術論文:『Inhibition of leukocyte-type 12-lipoxygenase by guava tea leaves prevents development of atherosclerosis』2015年5月 Food Chem 186:2-5
						学術論文:『The Y54(L)W mutation of anti-leukotriene C4 single-chain antibody increases affinity to leukotriene E4』2016年9月 J.Biochem.161(1):79-86
_{オノ アヤコ} 小野 文子	中国学園大学 子ども学部 子ども学科	教授	学部長 研究科長	学士(芸術)	音楽	演奏:小野文子 ピアノ・デュオ・リサイタル(東京・岡山)2017年 録音:小野文子、安田正昭 CD「組曲『惑星』」NARC-2061 2011年(レコード芸術準特選)
	中国学園大学大学院		917017IX			
	子ども学研究科 子ども学専攻					論文: Ono.A 「Problem of the Teaching Materials Study of the Music Department and Cultivating sesitivity Through music」 Chugoku Gakuen Journal, Vol.16, pp.9-12,
						2017 論文:小野文子、太田正清「小学校音楽科教育法における『表現』に関する考察」中国学園紀要 第16号 2017年 pp.195-204

^{キシ} セイイチ 岸 誠一	中国学園大学 子ども学部 子ども学科	教授		修士(工学)	メディア教育 情報教育 教育評価	・研究論文:「Googleドライブを活用した簡易評価システムの試行について」,日本教育工学会研究報告集,JSET 16-4 ,pp.131-136, 2016 「Googleドライブを活用した簡易評価システムの試行について一理科教育法の模擬授業における実践を通して一」,中国学園紀要,第16号,pp185-190, 2017
佐々木 弘記	中国学園大学 子ども学部 子ども学科 中国学園大学大学院 子ども学研究科 子ども学専攻	教授	学科長	博士(学校教育学)	教育方法学 理科教育学 教育工学	博士論文:佐々木弘記(2012) 教育センターにおける反省的実践家としての専門的力量形成を目指した教員研修に関する研究, 兵庫教育大学論文: Sasaki,H.(2014) A Study on Coaching to Develop School Principals' Professional Competence as Reflective Practitioners, Chugoku Gakuen Journal, Vol.13, pp.47–56. 論文: Sasaki,H.(2015) Development and Evaluation of a Teaching Material using a Moral Dilemmatory, Chugoku Gakuen Journal, Vol.14, pp.23–29. 論文: Sasaki,H.(2016) A Student Teacher Training Program Renewal and an Analysis of Practical Instructional Competence of the Student Teachers Development and Evaluation of a Teaching Material using a Moral Dilemmatory, Chugoku Gakuen Journal, Vol.15, pp.1–8. 論文: Sasaki,H.(2017) A Discussion of Teaching Method in Moral Instruction and a Lesson Practice to Educate Students in Information Ethics, Chugoku Gakuen Journal,
						語文: Sasaki,H.(2017) A Discussion of Teaching Method in Moral Instruction and a Lesson Practice to Educate Students in Information Ethics, Chugoku Gakuen Journal, Vol.15, pp.1-7.
中典子	中国学園大学 子ども学部 子ども学科 中国学園大学大学院	准教授	学生課長	博士(社会学)	児童福祉	伏見美紀・延原栄子・春田萬壽美・入江麻紀・中典子「子ども・若者の居場所における効果的支援と課題ー倉敷市・岡山市における不登校・ひきこもり支援団体へのインタビューをもとに一」『中国学園紀要』第16号, 2017年, pp.133-142
	子ども学研究科 子ども学専攻					伏見美紀・延原栄子・春田萬壽美・入江麻紀・中典子「不登校・ひきこもり支援の居場所運営のあり方ーインタビュー調査より一」『地域福祉サイエンス』第3号, 2016年, pp.9-15
						伏見美紀・延原栄子・春田萬壽美・入江麻紀・中典子「倉敷市における不登校・ひきこもり支援の現状と課題-民間の支援団体に対するインタビュー調査より-」『社会福祉科学研究』第5号, 2016年, pp.35-43
						伏見美紀・延原栄子・春田萬壽美・入江麻紀・中典子「倉敷市における不登校・ひきこもり支援団体が目指すものーインタビューより探る一」『福祉おかやま』第33号, 2016 年, pp.19-26
						中典子「子どもの権利を尊重した支援について~『児童の権利に関する条約』から考える~」『福祉おかやま』第32号, 2015年, pp.28-33
マキオ マサエ 槙尾 真佐枝	中国学園大学 子ども学部 子ども学科	准教授		修士(子ども学)	児童福祉	 論文:槙尾真佐枝「新たな障がい者支援ネットワークの構築~知的障がい者を中心として~」修士論文 2012年
	中国学園大学大学院 子ども学研究科					 論文:槙尾真佐枝・梅野潤子・山本利実子・福知栄子「子どもの育ちを地域で支えるワンストップ・サービスの開発 -大学における 「地域子どもサロンたんぽぽ」の事例から-」中国学園紀要 第14号 2015年 pp.139−146
	子ども学専攻					論文:槙尾真佐枝「障害児・者に対する差別意識に関する考察 一大学生の意識調査より一」中国学園紀要 第16号 2017年pp.143-150
						研究ノート: 槙尾真佐枝「障害児・青年の表現活動への支援」福祉おかやま第33号 2016年 pp.27-34
						著書(共著):小宅理沙[監修]・中典子・潮谷光人 編 槙尾真佐枝「第10章 社会的養護における援助の展開」 『社会的養護・社会的養護内容』2017年 pp.85-94
ヒラマツ ミユキ 平松 美由紀	中国学園大学 子ども学部 子ども学科	准教授		修士(子ども学)	幼児教育 身体教育	論文(単著): 幼児期の教育における「五感を育てる」ことの教育的意義に関する一考察-倉橋惣三の「根の教育」を中心として- (2013) 著書(共著): 準備と自己評価で実力をやしなう 改訂版幼稚園教育実習 監修・著平岡弘生 他 (2014)
						論文(共著):「幼児期におけるキャリア教育の実践に関する検討」-キャリア教育発達過程の立案から-中国学園紀要第15号(2016) 論文(単著):幼稚園教育実習前後における領域「健康」にかかわる場面思考の変容について 中国学園紀要16号(2017)
±>==>	中国学園大学	*# # # +型		修士(美術)	子どもと造形	論文(単著):保育者に求められる子ども理解の視点について 中国学園紀要16号(2017)
カシハラ ヒロシ 柏原 寛	中国子園人子 子ども学部 子ども学科	准教授		修工(夫術)	子ともと追形	論文:『技術科エネルギー変換教材の開発を通じた産学連携による関係構築と課題』柏原寛 東京学芸大学紀要 (H27.2) 学会発表:「Tech未来教材を用いたWebシステムにおける教員支援の試み」/「Tech未来教材を用いたスタンダード指導資料の作成と授業実践」第58回日本産業技術教育学会(H27.8)
						学会発表:「Tech未来教材を使用した中学校技術科〈エネルギー変換に関する技術〉の授業検討」日本教科教育学会第41回全国大会(H27.10)
フジイ サヨコ	 中国学園大学	嘱託准教授		学士	小学校英語教育	学会発表:「都市部における教育環境課題への取組みと考察一墨田区における教育環境支援の実践から一」平成27年度日本教育大学協会研究集会 (H27.10) 藤井佐代子「学習者が学び合いを実感し、自分を高めるための到達度評価」岡山市立津島小学校研究紀要、2013
ゔ゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙ゔ゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゚゙ゕ゚゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙	子ども学部 子ども学科			, -		藤井佐代子「学び合いを大事にする外国語活動の実践」岡山市立津島小学校研究紀要、2014 藤井佐代子(共著)「SECTION2 PART1 Welcome to Okayama]岡山からハロー、岡山ローバル英語研究会編、山陽新聞社、15-17、2014
						藤井佐代子「4年生英語活動 めあてに照らして、自らの変容を感じることができる授業をめざして」津島小学校研究紀要, 2015
						藤井佐代子「In take, Out putの学ぶ過程で、人と関わり合う楽しさを生かした授業」岡山市立津島小学校研究紀要、2016
イケダ ミツユキ 池田 満之	中国学園大学 子ども学部 子ども学科	准教授		学士(工学)	ESD·環境教育	共著:「持続可能な開発のための教育(ESD)の理論と実践』2012年 ミネルヴァ書房pp.1-12
	1 C OT DP 1 C OT14					共著「:Education for Sustainable Development (ESD) and Kominkan / Community Learning Centre (CLC) Promotion of ESD by utilizing Kominkan/CLC J2013年 岡山大学出版会 pp.172-186
						共著:「ESDの地域創生力 持続可能な社会づくり・人づくり9つの実践」2017年 合同出版 pp.115-129 論文:「2030年を目指したESD・環境教育に関する考察と提言」2017年 中国学園紀要 第16号 pp.221-230
クニタ ショウコ	中国学園大学	講師		博士(心理学)	認知心理学	調文:12030年を日指したESD*環境教育に関する考奈と徒告]2017年 中国子園和安 第10号 pp.221=230
グニタ ショウコ 國田 祥子	子ども学部 子ども学科	마다다			HOVH.D	幽田祥子(2012): 青読は又草理解に有効が 中国学園能安, 11, 181-188. 國田祥子・槙尾真佐枝(2013): 児童養護施設の子ども達への学習支援に関する研究 —平成23年度の調査から— 中国学園紀要, 12, 149-156.
						國田祥子・山本あゆみ(2014). 子どもの自己表現と自己抑制の関係について 中国学園紀要, 13, 131-140.
						國田祥子(2016). 表示メディアが読みやすさと印象形成に及ぼす影響 —iPad mini, Kindle Paperwhiteを用いて— 中国学園紀要, 15, 87-93.
		=# #-		24.1	<u> </u>	國田祥子(2017). 褒め言葉の受け取り方 ―大学生と小学生の比較― 中国学園紀要, 16, 151-157.
まゾタ トモシゲ 溝田 知茂	中国学園大学 子ども学部 子ども学科	講師		学士	体育	平成27年度第62回全日本バレーボール大学女子選手権大会 ベスト32
						平成28年度第63回全日本バレーボール大学女子選手権大会 ベスト16
						平成29年度第85回中国大学バレーボールリーグ戦春季1部リーグ 第2位
						平成29年度第61回中四国学生バレーボール選手権大会 準優勝
						平成29年度第43回西日本バレーボール大学女子選手権大会 ベスト16

サカタ キホ	中国学園大学	=# AT		₩ 1 / 7 184 ₩\	/n 	A
^{サカタ キホ} 坂田 季穂	子ども学部 子ども学科	講師		修士(子ども学)	保育	論文:『保育室の空間の重要性と工夫-保育室をつくる上で保育者が気を付けていくべきこと-『坂田季穂 中国学園紀要第14号 pp.203-206(2015)
						論文:『地域の文庫活動の歴史と方法の展開』坂田季穂 中国学園紀要第15号 pp.111-116 (2016)
						論文:『地域社会における文庫活動の展開』坂田季穂 中国四国教育学会 教育学研究紀要(CD-ROM版)第61巻(2017)
						修士論文:『地域社会における文庫活動の開設と展開-運営者の語りに着目して-』坂田季穂 中国学園大学大学院(2017)
/ = / h+1	中国学園大学				_	論文:『絵本に関する保育計画について-保育の場での絵本の役割と指導の要点-』坂田季穂 中国学園紀要第16号 pp.191-194(2017)
村井 隆人	中国学園大学 子ども学部 子ども学科	講師		博士(教育学)	国語	論文:『説明的文章の批判的読みの学習指導における情意的性向の形成と評価に関する研究』2017年3月 中国四国教育学会『教育学研究紀要』第62号,pp.268-273
					国語教育学	論文:『米国における説明的文章の批判的読みの指導の階層性 — Reading Standards for Informational Textを手がかりに—』2017年7月 広島大学大学院教育学研究科国語文化教育学講座『論叢国語教育学』第13号,pp.1-15
						論文:『説明的文章の批判的読みの指導における学力形成と教育評価 - 中学1年生を対象とした実験授業の分析を通して - 』2017年12月 広島大学大学院教育学研究 科紀要第二部 文化教育開発関連領域 第66号
						論文:『説明的文章の批判的読みの授業実践の展開ー学年段階と年代に焦点をあててー』2018年 日本教科教育学会 日本教科教育学会教育学誌 第41巻1号
コサカーフ ユミ 小阪 芙由美	中国学園大学 子ども学部 子ども学科	助教		学士(保健体育)	保健体育	論文:『単元計画の研究-高等学校第2学年 球技パレーボール』(2017.1.29)
サイキ タケヒコ 佐生 武彦	中国学園大学 国際教養学部 国際教養学			M. A(スピーチ・コミュニ	異文化コミュニケーショ	CEFRと日本の外国語教育(1)(共著)(2011)中国学園紀要第10号
	国际教食子部 国际教食子科	教授	学部長	ケーション)サンフランシ	ン論、イングリッシュ・ドラ	グロービッシュの求める構文・文法と日本人の構文・文法力(共著)(2011)中国学園紀要第10号
				スコ州立大学大学院	₹	グロービッシュ1,500語とVOAスペシャル・イングリッシュ1,500語との比較(共著)(2011)中国学園紀要第10号
						English that Breaks Away From The Native Standards As Seen From The Perspective Of A "Culture VS Civilization" Theory(共著)
ナナハシ ハリアキ	中国学園大学	-				(CHUGOKUGAKUEN Journal (2012) Vol.11)
オオハシ ハリアキ 大橋 典晶	国際教養学部 国際教養学	教授	学科長	收十(粉玄苎)	英語教育	A Practical Research on Fostering "Global Human Resources" Part 2 (CHUGOKUGAKUEN Journal (2014) Vol.13)
	 	我较		修士(教育学)	カリキュラム開発	中国短期大学における選択科目「ポピュラー・ミュージック」での文法事項の取扱い(1)(2012,単著)中国学園紀要第11号 グロービッシュの求める構文・文法と日本人の構文・文法力(平成23年6月)中国学園紀要第10号
						Comparing the Globish Word List with those Commonly Used in Japan (CHUGOKUGAKUEN Journal (2011) Vol.10)
ヒノ マサテル	中国学園大学					
ヒノ マサテル 日野 正輝	国際教養学部 国際教養学	教授	図書館長	博士(地理学)	地域研究 世界遺産研究	著書:『変わりゆく日本の大都市圏ーポスト成長社会における都市のかたちー』(編著) 平成27年2月 ナカニシヤ出版
	1-1					著書:『Urban Geography of Post-Growth Society-』(編著) 平成27年3月 東北大学出版会
						著書(共著): 『現代インド4 台頭する新経済空間』平成27年3月 東京大学出版会
						論文(共著): "Social characteristics of migrants in suburban Beijing, China," 平成26年9月 Proceedings of ICE-Urban and Design and Planning, Vol.167-6,251-256頁
						総説等(単著):『理系と文系にまたがる地理学のアイデンティティー』平成27年4月 曙光第39号
						総説等:『1990年代以降の日本の都市システムの構造変化』平成27年9月 GEO 第10巻、第1号、42-46頁
タケノ ジュンイチロウ 竹野 純一郎	中国学園大学 国際教養学部 国際教養学	准教授		博士(学校教育学)	英語教育、リスニング	論文(共著): Comparing the Globish Word List with Those Commonly Used in Japan. CHUGOKUGAKUEN Journal, 10 (2011)
	 					論文(共著): グロービッシュ1,500語とVOAスペシャル・イングリッシュ1,500語との比較 中国学園紀要第10号(2011)
						論文(共著): CEFRと日本の外国語教育(1) - CEFRの成立とその概要 - 中国学園紀要第10号(2011)
						論文(共著): English that Breaks Away From The Native Standards As Seen From The Perspective Of A "Culture VS Civilization" Theory
						(CHUGOKUGAKUEN Journal (2012) Vol.11) 論文(共著):フィリピンでの英語教育(2)ーセブ島での語学短期留学を通して一中国学園紀要第16号pp237~246
ササキ キミユキ	中国学園大学					
佐々木 公之	国際教養学部 国際教養学	*************************************		RMIT大学(国立メルボル	国際経営戦略	「ものがたりで読む起業・開業成功ノウハウ」共著、今井出版、2010年
	 	准教授		ンエ科大学)経営学	- VI KEKINI	「第12次業種別審査事典 全9巻」4業種担当執筆、(社)金融財政事情研究会 2012年
				修士(MBA)	マーケティング	What makes someone a better business leader? 中国学園大学·中国短期大学紀要 2014年
					キャリアテ゛サ゛イン	「とっとり雇用創造未来プラン」創業・ベンチャー人材育成研修 2013創業塾 主幹講師
	中国学園大学					論文(共著):『学生視点による鏡野町の買物弱者救済における企業への課題解決提案』中国学園紀要第16号 pp287~294 (2017)
Paul Moritoshi	国際教養学部 国際教養学	准教授			0	平成21年12月 - ESP in Japanese tertiary institutions: Making the paradigm shift happen (日本の高等教育機関における特殊目的の
	科			修士(外国語/第2言語	プロジェクトペースの	ための英語:パラダイムシフトを実現するために) Annual Report of the JACET-SIG on ESP, 11, pp.56-64
				としての英語教授)の	言語学習	平成21年10月
				学士取得		In A Stoke (Ed.), JALT2008 Conference Proceedings.
						平成19年1月 一Basic Parts of Speech (Student Book) (基礎的品詞・学生用) センゲイジラーニングK.K.
						平成13年12月 一A four step approach for improving syllabus design coherence (シラバスデザインの統一性を向上するための4段階アプローチ)
						The Language Teacher, (25) 12,pp. 15-19
						論文: Paul Moritoshi / Students' Views on Using Word Card Books in a Vocabulary Review Activity for Learning New English Vocabulary
						Chugoku Gakuen Journal, Vol.16, pp.13-18 2017

コイデ タクマ	中国学園大学	准教授	博士(経営	(学) 経営学	
コイデ タクマ 小出 琢磨	国際教養学部 国際教養学				論文:『組織能力と能力形成プロセスー3社の事例から一』 <u>小出拓磨</u> 、城戸康彰 産業能率大学紀要第33巻第1号 pp.47-62 (H24.9)
	삼				学位論文:『組織能力の独自性一成長企業3社の事例一』小出拓磨 南山大学機関リポジトリ 甲第26号pp.1-157 (H26.3)
					論文・学会発表:『組織能力論におけるコア・コンピタンスの位置づけ』(査読付)小出拓磨 経営行動科学学会第17回年次大会論文集(H26.11)
					論文:『営業力強化に向けた分析枠組みの提示―マーケティング戦略、組織能力の観点から―』(査読付) 小出拓磨 経営行動科学学会第18回
					年次大会論文集(H27.11)
					論文:『組織能力の枠組みに関する追加的視点』中国学園紀要第16号pp.259~271 (2017.6)
					論文:『グローバル人材育成に向けた人事部門の役割ー組織能力向上を見据えてー』中国学園紀要第16号pp.273~285(2017.6)
	中国学園大学 国際教養学部 国際教養学	講師	博士(学	術) 英語プレゼンテーション	The Effects of Blended Instruction on Oral Reading Performance and their Relationships to a Five-Factor Model of Personality (2010) Knowledge Management & E-
	科				ブレンド型授業による英語の音読力と自由発話力に及ぼす効果(2009)日本教育工学会論文誌
					英語の授業における聞く力を高めるためのWBT教材の活用(2009)教育システム情報学会誌
					英語の発話演習にリスニング教材を活用したブレンディング学習による効果(2008)日本教育工学会論文誌
					論文:『楽曲に対応した英語カードを用いたグループ対戦ゲームの授業活用とその効果に関する一検討』中国学園紀要第16号pp247~257(2017.6)
					論文(共著):『フィリピンでの英語教育(2)ーセブ島での語学短期留学を通して一』中国学園紀要第16号pp237~246
	中国学園大学 国際教養学部 国際教養学	講師	博士(法) 修士(会]		著書(共著):『租税法入門〈上巻〉法人税法・消費税』中央経済社(2016)
	科	마유마마	PZ	国際租税法	著書(共著):『税務会計研究 第26号』第一法規(2015)
					著書(共著):『国際課税の理論と実務』大蔵財務協会(2012)
					著書(共著):『財務会計研究 第22号』第一法規(2011)
					著書(共著):『移転価格税制執行の理論と実務』大蔵財務協会(2011)
					著書(単著):『移転価格税制の紛争解決に関する研究 日本ベース多国籍企業における経済的二重課税の紛争解決メカニズムの追究』大城隼人
					税務経理協会(2014)第43回日本公認会計士協会「学術賞」
					論文:『ポストBEPSにおける「企業の不確実性の排除(予見可能性)」の動向と今後の方向性』中国学園紀要第16号pp295~303 (2017)
					論文:『ポストBEPSを踏まえた、わが国の海外進出と課税リスク』中国学園紀要第16号pp305~312 (2017)
	中国学園大学 国際教養学部 国際教養学	講師	博士(教育	万学) 英語教育	"Negatives in Sir Philip Sidney" ERA, New Series. Vol.26,nos.1-2(2009.3月)
	科				『初期近代英語からみた現代英語の否定構造』『英語教育への新たな挑戦ー英語教師の視点からー』(2010.7月)

〈中国短期大学〉

^{ウノ} ヤスコ 宇野 保子	中国短期大学 総合生活学科				服飾文化史	著書(共著):「服装史·服飾美学関連論文要旨集1998~2008」 建帛社 2010年、東京 pp.30-49
	松口工冶子科	教授	短期大学部長	修士(学術)		論文(単著):「近代看護婦の誕生とその服装一看護理念を支える看護服」 Journal of the International Association of Costume
					大怡子	Vol.37 pp.57-66 (2010)
						著書(共著):「現代生活とマナー」ふくろう出版2012,岡山(pp11-30)
						口頭発表:「自己愛傾向とファッション行動との関連」一般社団法人日本家政学会第66回研究発表会(2014.5.25)北九州国際会議場
						研究助成:「竹久夢二の服装観と服飾表現」公益社団法人両備檉園記念財団 H26.10.14 両備ホールディングス
						実施委員:平成26年度文部科学省委託 成長分野における中核的専門人材育成等の戦略的推進事業
						「岡山県をモデル地区としたデニム・ジーンズ産業の中核的クリエイター養成」
						著書(共著): 平成26年度文部科学省委託成長分野における中核的専門人材育成等の戦略的推進事業「事業報告書」H27.2.岡山
						著書(共著): 同報告書「デニム・ジーンズマーケティングテキスト」H27.2,岡山
						著書(共著):同報告書「デニム・ジーンズマネジメントテキスト」H27.2,岡山
カワモト マサオ 河本 正夫	中国短期大学 総合生活学科	教授	学科長	th 1 (- 34)	高分子化学	講演:「差別化繊維開発素材について」岡山大学産官学連携本部 2013.2.13
				修士(工学)	繊維工学	著書(共著):「現代生活とマナー」ふくろう出版2012,岡山(pp61-83)
	中国短期大学	教授	エクステンション		高齢者介護、福祉教育	 中国短期大学紀要「介護実習の意義と目的」~視点格差の現状報告と課題~ 2011/6
4世 到1	総合生活学科		センター次長			岡山県保健福祉学会論文(誌上発表)「バーンアウトの現実」2011/11
						著書(共著):「現代生活とマナー」ふくろう出版 2012,岡山 (p84-103)
						日本介護福祉学会 (ポスター発表)「国立病院機構病院における療養介助員の専門性に関する一考察」2013/10
						日本総合医学会 (ポスター発表)「国立病院機構病院における療養介助員の専門性に関する一考察」2013/11
						論文(共著):「国立病院機構病院における療養介助員の専門性についての一考察 -中四国8病院のアンケート調査から」中国短期大学紀要2014.6
- ッキ ヤスヒロ 小築 康弘	中国短期大学			 博士(農学)	人—————————— 栄養生化学	著書(共著):「わかりやすい栄養学(改訂3版)」三共出版、2010年、東京 pp.44-63
小梁 康弘	総合生活学科	拟汉		(日本(辰士)		
						著書(共著):「わかりやすい栄養学(改訂4版)」 三共出版、2010年、東京 pp.44-61 論文(共著):「給食形態と児童・生徒の体格および食習慣との関係」日本給食経営学会誌4,pp.87-95,2010
						端文(共省): 「制度) 1 元
						学会発表(共同): 「発芽玄米含有アシル化植物ステロール配糖体の大腸癌細胞増殖抑制効果」第67回日本栄養・食糧学会大会 2013
						講演:「食品とはすべての飲食物である。ただし…」土曜"楽"習講座、中国学園公開講座、2013
						講演:「『食品』とのつきあいかた」吉備創生カレッジ2014
						学会発表(共同):「発芽玄米含有アルシ化植物ステロール配糖体の大腸癌細胞増殖抑制効果」日本脂質栄養学会第22回大会,2013
						学会発表(共同):「植物コレステロールおよびエルゴステロールのマウス大腸癌細胞増殖抑制効果」第68回日本栄養・食糧学会,2014
ブジタ サトル 藤田 悟	中国短期大学 総合生活学科	准教授	入試広報課長	修士(社会学)	ファッションビジネス	著書(単著):「ファッションビジネス入門」繊研新聞社 (1999.8)
	100 1 271 7 11				ファッション社会学	著書(単著):「ファッションビジネスのインターネット販売入門」繊研新聞社 (2002.4)
						著書(単著):「目で見るファッションマップの作り方」チャネラー (2005.1)
						学会研究発表:「インターネットにおけるファッション販売教育の課題と問題点」ファッションビジネス学会 (2010.9)
						学会発表:共同研究発表「大阪キタ・ミナミ・あべの地区の平成23年5月~8月にかけての顧客動向調査」ファッションビジネス学会(2012.3)
						学会発表:共同研究発表「大阪キタ地区の平成24年5月~8月にかけての顧客動向調査」ファッションビジネス学会(2013.11)
						学会発表:共同研究発表「天王寺地区の平成25年8月~9月にかけての顧客動向調査」ファッションビジネス学会(2014.11)
						学会発表:共同研究発表「大阪あべの地区における顧客動向変化」ファッションビジネス学会(2015.3)
	中国短期大学総合生活学科	講師		博士(医療福祉学)	医療情報学	口頭発表「国民生活基礎調査における健康票と自殺との関連」第36回日本保健医療社会学会, 2010/5
	松口工冶子符				」 医療福祉学	 論文共著「自殺と世帯所得における貧困率との関係」医学と生物学会論文誌, Vol.154, No.6, pp.280-285, 2010/6
						 論文単著「格差社会と自殺ー社会経済的要因をめぐって」日本人権教育研究学会論文誌、Vol.10, pp.1-16, 2010/8
						論文共著「自殺の要因につながる世帯所得と精神疾患との関係」医学と生物学会論文誌, Vol.155, No.1, pp.280-285, 2011/1
						ロ頭発表「DPCデータ分析」全日本病院協会、2011/10
						口頭発表「肺炎患者の臨床像」全日本病院協会、2012/9
						ロ頭発表「歴史からみる統計学の力と落とし穴」、第3回瀬戸内医療情報ネットワーク勉強会、2013/7
						口頭発表「医療情報技師勉強会を立ち上げた者として合格体験談」,第6回瀬戸内医療情報ネットワーク勉強会,2014/5
						口頭発表「名言から学ぶメンタルヘルス対策」、第7回瀬戸内医療情報ネットワーク勉強会、2014/8
I	I	1			I	一点の数、自自な フェのマンアル・バイバルス・メルロのバーコにが旧代サイト ノーン形成立、4017/0

						口頭発表「政府統計の調査・分析による医療、福祉労働者のストレスの現状把握」第7回日本医療秘書実務学会 2016/9 論文:『社会経済状態と健康との関連』中国学園紀要第16号pp.1~6 (2017.6)
^{カガタ} エリ 加賀田 江 里	中国短期大学 総合生活学科	講師		修士(栄養学)	調理	論文(共著):「切り干しダイコンの煮えにくさとペクチンの状態」日本家政学会誌59(8)pp.575-582(2008)
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						著書(共著):「現代生活とマナー」ふくろう出版2012,岡山(pp42-54)
						 口頭発表「高等教育機関に在籍する学生の 地域農産物に関する意識調査 - 大学及び短期大学学生 -」第8回日本食育学術会議2013
						 口頭発表(共)「幼児の給食時の咀嚼回数といくつかの身体指標について-給食時の接触状況の観察から-」第8回日本食育学術会議2013
						 論文(共著):「大学生および短期大学生の地域農産物に関する意識調査」中国学園紀要第12号(2013)
						口頭発表(共):「幼児期の咀嚼に関する食育指導媒体の作成と保育園勤務職員の食育感」 第9回日本食育学術会議2014
						ロ頭発表(共)「岡山県特産野菜の黄ニラに含まれるアスコルピン酸含量の周年変動」 一般社団法人日本調理科学会 平成26年度大会
						論文(共著):「黄ニラおよび黄ニラのビタミンC含有量の周年変動」 中国学園紀要第13号(2014)
ウェオカ ヒトシ 上岡 仁	中国短期大学	教授	学科長	学士(法律)	教育原理	編著:『学びをつなぐ校長講話』 吉備人出版 (2017)編著:『学びをつなぐ校長講話』 吉備人出版 (2017)
Im I-	保育学科					著書:『校長職と学校経営』 溪水社 (2016)
						論文:『倉敷ブロック研究テーマ「学びを支える基礎力の向上を目指して~連携の在り方についての模索を通して」』 岡山県小学校校長会特別研究委員会(2015)
						著書(共著):『品格教育講話集』 総社市校長協議会道徳部会 (2015)
						論文(共著):『進んで関わりをもち,好ましい人間関係を築こうとする子の育成~SEL,協同学習,ピア・サポート,品格教育を通して~』平成26年度総社市立総社小学校 研究紀要(2015)
						論文(共著):『進んで関わりをもち、好ましい人間関係を築こうとする子の育成~SEL、協同学習、ピア・サポート、品格教育を通して~』平成25年度総社市立総社小学校 研究紀要(2014)
						新光紀安(2014) 著書(共著):『"Hello" from Okayama 岡山から"ハロー"』 岡山ローバル英語研究会編 山陽新聞社 (2014)
						著書(共著):『総社市版学校評価Q&A』 総社市教育委員会 (2010)
						著書(共著):『最終報告書 総社市における学校評価の新たな展開』 総社市教育委員会 (2010)
						論文:『信頼される開かれた学校の基盤づくりに向けて』 生きる力をはぐくむ学校経営の推進実践事例集第28号 岡山県小・中学校長会連絡協議会 (2010)
						論文(共著):『読むことのおもしろさを味わいながら,ことばの活用力を高める説明的文章の授業づくり』 平成21年度総社市立山手小学校研究紀
						酬文(共有). 『誠也ことのおもしつでを味われなから、ことはの治用力を向める説明的文章の技業プラップ 十成21年度総任用立山于小子校明先制(2010)
ツチヤ ユミコ 土谷 由美子	中国短期大学 保育学科	教授		学士(芸術)	幼児音楽	施設実習に関する意欲と現状について
						保育実習に関する意欲と現状について
						保育実習に関する意欲と現状についてⅡ
						保育士養成過程における施設実習に関する課題
						造形表現に関する学生の意識
						論文(共著):『保育士養成課程における施設実習に関する課題 II -現状と約10年前の比較-』土谷由美子、 <u>平尾太亮</u> 中国学園紀要第13号(2014.6)
						学術論文(共著):『中国短期大学保育学科における鍵盤楽器未経験者に対する演奏技術向上の為の取り組み(1)』中国学園紀要第15号pp.19~24(2015.6)
						学術論文(共著):『中国短期大学保育学科における鍵盤楽器未経験者に対する演奏技術向上の為の取り組み(2)』中国学園紀要第15号 pp.11~16 (2016.6)
マツイ ケイゾウ 松井 圭三	中国短期大学 保育学科	教授		修士(文学)	社会福祉政策	編著:『児童家庭福祉』 大学教育出版(2010)
						編著:『よくわかる社会福祉概論』 大学教育出版 (2010)
						編著:『家庭支援論』 大学教育出版(2013)
						編著:『相談援助概説』 ふくろう出版 (2013)
						論文(共著):『地方教育行政法第47条の5に基づく学校運営協議会制度の研究』地域福祉サイエンス第2号 地域福祉総合研究センター 2015.10
						論文(共著):『介護保険法改正の政策形成過程を一考察』草の根福祉第45号 社会福祉研究センター 2015.12) 著書(共著):『私たちの暮らしとソーシャルワークII』保育出版社(2016.3)
						者書(共者): 体/にちの春らしとソージャルソーグ II
						論文(共著):『教育課程における新聞記事と文章表現についての一考察』松井圭三、今井慶宗 中国学園紀要第15号 2016.6
						著書(共著):『社会福祉論』現代図書 2016.10
						学会発表(共同):『岡山市における地域協働学校の一考察』日本地域福祉学会 社会事業大学 2016.6
						 学会発表(共同):『介護保険政策の一考察 -旧与党、旧民主党を中心に-』日本社会福祉学会 佛教大学 2016.9
						学会発表(共同):『新聞実践研究 -社会福祉教育を中心に-』 日本NIE学会 愛媛大学 2016.11

マツイ 松井 みさ	中国短期大学	教授		修士(芸術学)	作曲	Canto contemporaneo II ~ピアノのために~の作曲・発表
松井 みさ	保育学科					章謡集「とっくんこ」の詩による童謡の作曲・発表
						ボランティア活動における学生の意識変容について(1)
						ボランティア活動における学生の意識変容について(2)
						ボランティア活動における学生の意識変容について(3)
						学術論文(共著):『中国短期大学保育学科における鍵盤楽器未経験者に対する演奏技術向上の為の取り組み(1)』中国学園紀要第15号 pp.19~24 (2015.6)
						学術論文(共著):『中国短期大学保育学科における鍵盤楽器未経験者に対する演奏技術向上の為の取り組み(2)』中国学園紀要第15号 pp.11~16 (2016.6)
	中国短期大学	教授		学士(芸術)	ピアノ	ピアノ基礎技法を中国短期大学紀要第31号、第32号、中国学園紀要第1号~第7号・第12号記載。
大山 佐知子	保育学科					
						1993、1994、1997、1999、2001、2003、2004、2006にソロリサイタルを行う。
						ソロを中心に活動を行う他、オーケストラとの協演、アンサンブルコンサート、デュオコンサートにも取り組む
						学術論文(共著):『音楽の「ノリ」を感じる表現活動 その1』日本保育学会第69回大会(2016.5.7)
						学術論文(単著):『音楽の基礎 -「リズム感」についての一考察- その2 』中国学園紀要第15号 pp.1~4(2016.6)
						学術論文(共著):『中国短期大学保育学科における鍵盤楽器未経験者に対する演奏技術向上の為の取り組み(1)』中国学園紀要第15号 pp.19~24 (2015.6)
						学術論文(共著):『中国短期大学保育学科における鍵盤楽器未経験者に対する演奏技術向上の為の取り組み(2)』中国学園紀要第15号 pp.11~16 (2016.6)
						演奏(共演):『歌・マリンバ・ピアノによる音楽鑑賞会』三宅史子、今井忍、 <u>大山佐知子</u> 城見小学校 2016.7.4
						学術論文(単著): 『乳幼児におけるリズム感育成の試み』H28年度中・四国保育士養成協議会研究助成費報告pp28~29(2017.4.16)
						 学術論文(共著):『中国短期大学保育学科における鍵盤楽器未経験者に対する演奏技術向上』中国学園紀要第16号pp23~30(2017.6)
						 学術論文(共著):『音楽の「ノリ」を感じる表現活動 その2』日本保育学会第70回大会p923(2017.5)
						 講座:『川崎紫明音符ビッツ体験講座』中国学園公開講座2017(2017.6/7/8/9/10月)
ハラダ マスミ 原田 眞澄	中国短期大学	教授		修士(看護学)	小児看護	子どもに対する性の健康教育のあり方一保育学生への特別講義9年目の実績と評価一(2012)
JC/I	保育学科					論文:『園児の睡眠リズムに関する研究 東日本大震災における保育の対応に関する文献検討』中国学園紀要第11号(2012)
						 保育学生への手洗い指導~洗い残しが見える教材を導入して~(2013)
						3.4.5.6歳児の睡眠に関する研究~睡眠リズムと親の意識について~(2013)
						 保育学生が園児から受けたプライベートゾーンに関する言動・行動と対応の実態 第2報 ~保育所での保育実習・幼稚園での教育実習を終了して~(2012)
						 論文:『「保育所における危機対応」に関する授業の考察 -保育学生の感想の分析-』中国学園紀要第13号(2014.6)
						論文:『おんぶひもに関する考察』中国学園紀要第14号(2015.6)
						論文:『子どもへのタッチングに関する考察』中国学園紀要第16号pp.51~57(2017.6)
^{カンドウ} コ 勘藤 まり子	中国短期大学 保育学科	教授	認定こども園 室長	準学士	幼児教育	論文(共著):『保幼小の連携を深める為の保育者の資質について』中国学園紀要第16号pp.17~21(2017.6)
オノ ジュンコ 小 野 順子	中国短期大学 保育学科	教授		修士(教育学)	幼児教育	著書(共著):『子どもの育ちと「ことば」』保育出版社(2010)
						論文:『「保育の基本」の習得に関する考察』学校法人中国学園紀要第11号(2012)
						導入保育プログラムにおける学生の保育現場での学び(2012)日本保育学会
						「保育をみる」ことから得られる気づきについて(2012) 全保養研究
						保育者養成における「こころもち」に関する研究(2013)全保養研究
						幼児への食事指導の現状と課題 (2013) 日本保育学会
						論文:『地域連携における保育士養成校の役割について』中·四保養研究 (2013)
						著書(共著):「幼稚園教育実習」 ふくろう出版(2011) / 「準備と自己評価で実力をやしなう 改訂版 幼稚園教育実習」ふくろう出版(2014)
						著書(共著):『コンパクト版保育内容シリーズ「保育原理」』一藝社(2016)
						著書(共著):『コンパクト版保育内容シリーズ「保育内容総論」』一藝社(2017)
						論文(単著):『「心もち」豊かな保育者養成に関する研究』学校法人中国学園紀要第15号(2016)
						研究発表(単著):『認定こども園における教育実習の現状と課題』日本保育学会第69回大会(2016)
						研究発表(共著):『音楽の「ノリ」を感じる表現活動 その1』日本保育学会第69回大会(2016)
						論文:『人間関係を深める実習日誌の指導方法』ー「実習のねらい」を学びに生かす言語表現- 中国学園紀要第16号pp.7~16(2017.6)

++	中国短期大学	ı		<u> </u>		
オオハシ きサコ 大橋 美佐子	保育学科	准教授		修士(子ども学)	保育	伝承あそびに関する調査研究(1)-30年間における伝承あそびの意識調査の変容-
						保育所実習に対する不安要因の研究
						保育所実習 I (施設)の現状と課題ー学生・実習施設先アンケート結果からの考察ー
						保育者養成における望ましい学びの過程(1)~現場アンケートから~
						保育者養成における望ましい学びの過程(2)~現場アンケートから~
						「保育の扉」建帛社2012
						保育士の保護者支援における感情労働の検討 ボランティア活動における学生の変容について
						保育実習中に精神的な落ち込みを経験した学生の事例検討
						学生の表現力の向上に効果的な題材に関する研究
	中国短期大学	准教授		修士(教育学)		学術論文:『岡山県内の保育者を対象とした鑑賞に関する意識調査および鑑賞の研修機会の提供』平成22年9月(財)両備檉園記念財団 活動に関する
局處 里大	保育学科				表現の指導方法	文化、芸術、教育研究論叢(第23集)pp.1−21
						学術論文:『遊びに関する保育者への実践的な情報提供ー大量の紙コップを使った遊びー』平成25年3月 大学造形美術教育研究 第11号 pp.20-25
						┃ ┃学術論文:『遊びにおける子どもの姿について-普段とは違う姿-』平成29年3月 大学造形美術教育研究 第15号 pp.20-25
						 論文:『潜在保育士のキャリア研究-20代30代保育士の「退職者」と「継続者」の比較による離職防止研究-』 平成28年12月 山陽論叢第23号(2016)pp.49-65
						報告(共著):『子どもの創造力を育成する段ボール遊具の開発を目指して』平成28年6月 山陽学園大学・短期大学学内研究
						ロ頭発表:『保育現場における保育者養成校教員提案の視点活用ー「面白い」を捉える「5Cの力」を視点としてー』平成28年3月 日本保育学会九州地区主催研究会
						口頭発表:『保育指導案作成力向上の取り組み』平成28年5月 日本保育学会第69回大会(関東ブロック)発表要旨集
						ロ頭発表:『子どもや遊びの面白さを捉える視点を保育者間で共有するメリット』平成29年5月 日本保育学会第70回大会(中国ブロック)発表要旨集
ガ サカ サカ	中国短期大学	准教授		修士(体育学)	幼児体育	生命を大切にする心を育む長期キャンプの実践 埼玉大学教育学部 紀要 第8号(2009年)
	保育学科					 実習生が実感した子どものからだと心のおかしさ(2012) 中国学園 紀要 第12号(2013)
						 編著「子ども白書2005」草土文化2005年
						編著「学校で実践!子どものからだ・心づくり」教育開発研究所2007年
						編著「子どものからだと心白書2008」ブックハウスHD2008年
						男性保育士に求められる資質と能力(第1報) 2012 日本保育学会
						子どものからだと心のおかしさに寄り添う保育者の育成 2012 全国保育士養成協議会
						体験をとおした健康教育シンポジスト 2012 日本幼少児健康教育学会
						編著「子どものしあわせ―夏休みをゆたかに草土文化」2012
						長期キャンプ(30泊31日)が子どもの生体リズムに及ぼす生化学的影響 発育発達研究第58号 2013
ナカノ 中野 ひとみ	中国短期大学 保育学科	准教授	図書課長	学士	介護福祉 看護学	論文(共著):『6年間の「ボランティア」講座の取り組みー平成23年度スペシャルオリンピックス(SO)日本・大分の開催校としてー』別府溝部学園短期 大学紀要第33号(H25.3)
						論文(共著):『福祉·介護人材確保対策研修事業「高校生への訪問講座」に関する質的研究-KJ法による自由記述の分析-』別府溝部学園短期 大学紀要第36号 (H28.3)
						論文:『福祉·介護職への効果的な教育支援の検討~岡山県キャリア形成訪問指導事業を通して~』中国学園紀要第16号 pp59~67(2017.6)
ャマモト フサコ 山本 房子	中国短期大学 保育学科	講師		修士	保育学	論文:『乳幼児期のメディア環境の研究』平成12年1月 愛媛大学大学院修士論文 p55
						研究会発表:『幼児が「話したい」と思えるための環境構成や援助の工夫について』平成29年11月 倉敷市幼児教育研究会言葉部会
ナサダ シンヤ 名定 慎也	中国短期大学 保育学科	講師		修士(専門職) ヘルスケアマネジメント	介護福祉 社会福祉学	著書(共著):『現代社会福祉概説』松井圭三、今井慶宗、難波利光、田中幸作、横山順一、吉川知巳、藤田了、竹内公昭、 伊藤秀樹、名定慎也 第4章社会福祉専門職 pp44-67ふくろう出版(2015.3)
						学会発表(共同研究): 『岡山県A中学校区における地域協働学校の評価と課題』松井圭三、名定慎也 日本地域福祉学会 (2016.6.12)
						著書(共著):『社会福祉論』小宅理沙、吉川知巳、松井圭三、彦坂亮、中典子、角田みどり、中川陽子、浅利武弘、上田庄一、村上逸人、 槙尾真佐枝、梶原隆之、名定慎也 第4章「子ども」の人権と「社会福祉」1・2節pp.35-41 日本現代図書出版(2016.9)
						学会発表(共同研究):『介護保険法改正の政策形成過程の一考察 -与党・民主党の政策を中心に-』藤田了、松井圭三、名定慎也 日本社会福祉学会(2016.9.11)
						学術論文(共同研究):『介護保険法改正の政策形成過程の一考察 - 自民党・公明党・民主党の政策を中心に-』 藤田了、松井圭三、名定慎也 学校法人白藤学園奈良保育学院紀要(2016.12)
						著書(共著):『NIE児童家庭福祉ワークブック』松井圭三、今井慶宗、名定慎也 他 第14章「児童を取り巻く専門職」 大学教育出版(2017.3)
						学術論文(共同研究):『短期大学の教育課程における国語表現科目の研究 -介護福祉士養成課程の福祉教育を通して-』 名定慎也、今井慶宗 学校法人中国学園紀要第16号 (2017.6)
						学術論文(単著):『介護職員の離職に係る要因の把握とその対策の検討-離職経験のある介護職員を対象とするインタビュー調査をもとに-』 兵庫県立大学大学院経営研究科商大ビジネスレビュー第7巻pp.105-137(2017.9) 著書(共著):『社会的養護・社会的養護内容』小宅理沙、中典子、潮谷光人、名定慎也 他 第15章「成人障害者への支援の実際」
						第2節「障害福祉サービス事業所での利用者支援の実際」pp.190-201 翔雲社(2017.10)
						学会発表(共同研究):『介護福祉教育における児童福祉とソーシャルワーク』名定慎也、今井慶宗 日本保育ソーシャルワーク学会(2017.11.12)

^{ヒラオ} タイスケ 平尾 太亮	中国短期大学	講師		修士(教育学)	障害児保育	フレンドシップ形成に影響を及ぼすソーシャルスキルの特定に関する検討
一定	保育学科				臨床心理学	スクールニーズに応じたSSTが児童のフレンドシップ形成に及ぼす効果
						身体拘束軽減を目指す支援について
						論文:『知的障害をもつ学生に対する性教育プログラムの開発と実践 I 』中国学園紀要第13号(2014.6)
						論文(共著):『保育士養成課程における施設実習に関する課題 II -現状と約10年前の比較-』土谷由美子、 <u>平尾太亮</u> 中国学園紀要第13号(2014.6)
7クモリ マモル 福森 護	中国短期大学 情報ビジネス学科	教授	学科長 情報処理	博士(学術)	行動計量学、計算機統 計学、教育工学、情報処	e-Learningシステムにおける教育達成度の統計的検討ーラッシュモデルによる評価の有効性ー(2009年 行動科学研究会誌)
			センター長	13 — 12 1	理、多変量データ解析	共分散構造解析を用いた感性評価 -写真を題材として-(2009年 統計科学シンポジウム)
ソン ナンオク 宋 娘沃	中国短期大学 情報ビジネス学科					単著 『技術発展と半導体産業一韓国半導体産業の発展プロセスー』文理閣, 2005年
	日本にフィスナイオ					単著 『日本団塊世代の退職技術者の現状と活用方案』韓国産業技術財団, 2007年
		教授		插十(级带带)	経営戦略、国際経営、	共著「韓国IT産業の労働市場」(第7章)夏目啓ニ編『21世紀の企業経営』日本評論社, 2006年。
		我按		博士(経営学)	国際産業	共著 「三星電子の技術形成」(第5章) 橋本輝彦・岩谷昌樹編『組織能力と企業経営』晃洋書房, 2008年。
						共著「韓国ICT産業における人材の国際移動」(第10章) 夏目啓ニ編『アジアICT企業の競争カ』ミネルヴァ書房, 2010年。
						論文「韓国半導体産業の構造変化」『比較経営研究』第36巻, 2012年。
^{カワタ} ケンジ 河田 健二	中国短期大学 情報ビジネス学科			学士(芸術)		きびふれあいコンサート(複数回)出演、オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」伴奏(福山)
		教授				オペラガラコンサート(ルーマニア・尾道)、まなびピア岡山2007記念事業
						「みんなで元気!吉備キビ桃太郎体操」音楽制作、他多数
フルヤ シュンジ 古谷 俊爾	中国短期大学 情報ビジネス学科					赤木竜也、古谷俊爾:中国学園における情報セキュリティ意識の調査. 中国学園紀要(2010)9,17-21
	日本にフィスティイ	准教授		学士(工学)	情報教育	古谷俊爾,赤木竜也:中国学園の新キャンパスシステムに関するアンケート調査.中国学園紀要(2009)8,29-33
						古谷俊爾,赤木竜也:中国学園キャンパスシステムに関する一考察.中国学園紀要(2008)7,55-59
佐藤 由美子	中国短期大学 情報ビジネス学科	講師		修士(経営学)	ビジネス実務	論文:『接遇実習を通した社会化の検証-就職面接における接遇実習の一応用例-』専修学校教員研究奨励事業研究紀要21号(2000年)
ブジモト ヒロミ 藤本 宏美	中国短期大学	講師		博士(工学)	情報数学	学術論文(共著):『地域におけるスポーツ復興支援活動』 スポーツ産業学会 スポーツ産業学研究vol.22,No.1 pp.219~226(H24.3)
	情報ビジネス学科	再即		停工(工子)		学術論文(共著):『3A Mechanical Method for Evaluating Trainee Answers in a Risk Prediction Training System Based on the 4R Method』
						Information Engineering Express International Institute of Applied Informatics 2015, Vol. 1, No. 3 (H27.10)
						共著(学会大会):『デジタル4R訓練システム構築のための成否判定システムの最適化手法の研究』FIT2016第15回情報科学技フォーラム(富山大学)
						共著(学会大会):『大学入学時におけるコンピュータ操作能力の調査』平成28年度電気・情報関連学会中国支部連合大会(広島大学)